

西浦南保育園・小鈴谷保育園の統合の方針決定について

経過

- 令和6年11月に「常滑市立保育園・こども園再編計画」を公表し、西浦南保育園と小鈴谷保育園は統合の方向で検討することとしていた。
- 統合の方法として、移転・新設かどちらかの園に集約するかを検討するため、令和7年度に地域住民意見交換会を2回開催、アンケート調査を2回実施した。
- 意見及びアンケート調査結果を踏まえ、西浦南保育園・小鈴谷保育園の統合の方針(案)をまとめ、令和8年5月に地域住民説明会を開催した。



- 以上の経過を経て、西浦南保育園・小鈴谷保育園の統合の方針を「**移転・新設**」として決定した。

※方針決定までのプロセスについては、次スライド以降にて説明

アンケート調査（1回目）結果

1. 西浦南保育園・小鈴谷保育園在園児

- 調査期間：令和7年10月3日（金）～10月13日（月・祝）
- 対象者：西浦南保育園・小鈴谷保育園在園児の保護者（園児数：西浦南54人、小鈴谷55人／計109人）
- 回答数：西浦南30人、小鈴谷38人／計68人
- 回答率：西浦南55.6%、小鈴谷69.1%／全体62.4%

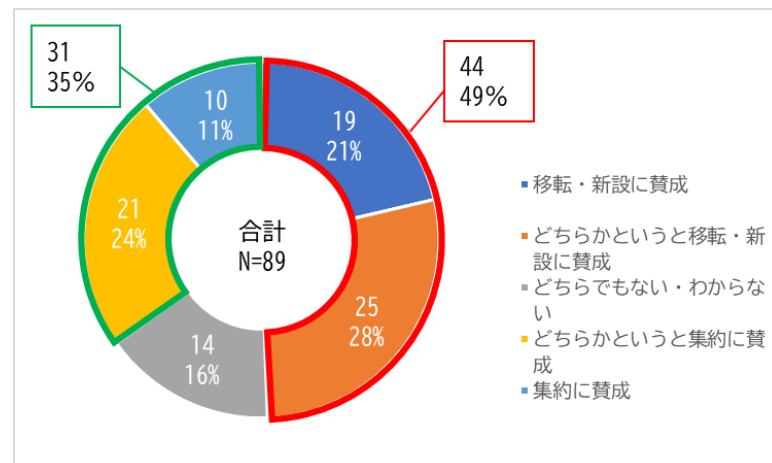
2. 西浦南小学校区・小鈴谷小学校区未就園児

- 調査期間：令和7年10月23日（木）～11月3日（月・祝）
- 対象者：西浦南小学校区内・小鈴谷小学校区内の未就園児（3歳未満児）の保護者（西浦南小15人、小鈴谷小27人／計42人）
- 回答数：西浦南小7人、小鈴谷小14人／計21人
- 回答率：西浦南小46.7%、小鈴谷小51.9%／全体50.0%

設問

統合の方法として、①2園の中間地点に移転・新設、②どちらかの園に集約する方法があります。①②について、どのように考えますか。

選択肢	西浦南 保育園	小鈴谷 保育園	西浦南 小学校区	小鈴谷 小学校区	計
移転・新設に賛成	10	2	3	4	19
どちらかという 移転・新設に賛成	10	11	1	3	25
どちらでもない・ わからない	6	5	1	2	14
どちらかという 集約に賛成	3	14	1	3	21
集約に賛成	1	6	1	2	10
計	30	38	7	14	89



地域住民意見交換会 開催結果

▼ 1 回目

日 時	令和 7 年 12 月 18 日（木） 18：15～19：15
場 所	南陵公民館 2 階 講義室
参加者数	8 名
主な意見	○ 統廃合の過去の事例はあったのか。 ○ 小学校もなくなっていくのか。 ○ アンケートに反対の項目がなかった。 ○ 意見交換会をもっと人が集まりやすい時間帯に設定したほうがいい。 ○ 小鈴谷保育園の園児は隣の小学校の小学生と触れ合える機会もあり、思い出に残っており、このままにしておいてほしい。 ○ 改修工事中も保育園に通うことができるのか。 ○ 新設の場合、場所や費用、保育士がどのくらい増えるのか知りたい。早く結果を知りたい。 ○ 改修の場合、建物はどのくらい持つか。 ○ 送り迎えが大変になる。

▼ 2 回目

日 時	①令和 8 年 1 月 19 日（月） 14：30～15：10 ②令和 8 年 1 月 19 日（月） 15：30～16：00 ③令和 8 年 1 月 21 日（水） 15：30～16：00
場 所	①②西浦南保育園 2 階 遊戯室 ③ 小鈴谷保育園 3 階 遊戯室
参加者数	15 名（①～③の合計）
主な意見	○ 改修工事中の通園は可能か。 ○ 新設する場合の候補地はどこか。 ○ 新設する場合、予算を確保できるのか。 ○ 民間園介入の予定があるのか。 ○ 予算確保の遅れでスケジュールが伸びる可能性はあるのか。 ○ 方針決定の期間はどのくらいか。 ○ アンケート回答率について、5 割は十分なのか。 ○ まだ方針が固まらない中で意見を出すのが難しい保護者が多い。 ○ 意見交換会は今後も継続して開催してほしい。 ○ 小学校統廃合も並行して検討されており、保育園だけでなく小学校も含めた広い視点での議論が必要だと思う。 ○ 個々の園で修繕したほうがコストを抑えられるのではないか。

アンケート調査（２回目）結果

1. 西浦南保育園・小鈴谷保育園在園児

- 調査期間：令和８年３月３日（火）～３月１５日（日）
- 対 象 者：西浦南保育園・小鈴谷保育園在園児の保護者
（園児数：西浦南５５人、小鈴谷５５人／計１１０人）
- 回 答 数：西浦南３７人、小鈴谷３５人／計７２人
- 回 答 率：西浦南６７．３％、小鈴谷６３．６％／全体６５．５％

設問

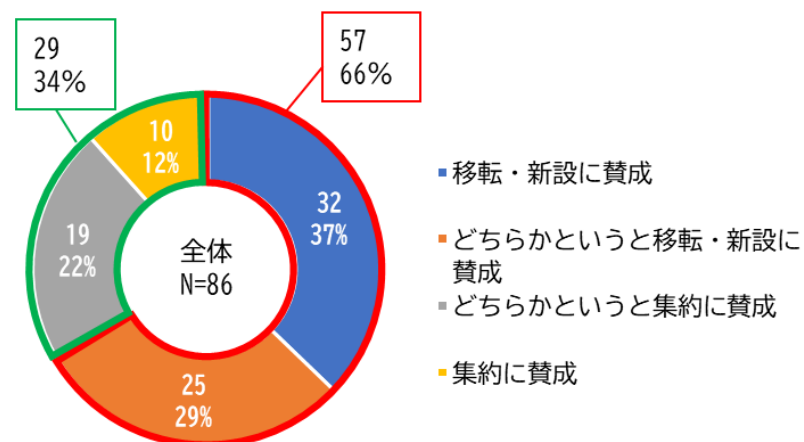
統合の方法として、①２園の中間地点に『移転・新設』、②どちらかの園を閉園し、片方の園に『集約』する方法があります。①②について、どのように考えますか。

選択肢	西浦南 保育園	小鈴谷 保育園	西浦南 小学校区	小鈴谷 小学校区	計
移転・新設に賛成	17	9	3	3	32
どちらかというに移転・新設に賛成	12	8	2	3	25
どちらかというに集約に賛成	6	13	0	0	19
集約に賛成	2	5	0	3	10
計	37	35	5	9	86

2. 西浦南小学校区・小鈴谷小学校区未就園児

- 調査期間：令和８年３月２日（月）～３月１５日（日）
- 対 象 者：西浦南小学校区内・小鈴谷小学校区内の未就園児（３歳未満児）の保護者
（西浦南小区１４人、小鈴谷小区３２人／計４６人）
- 回 答 数：西浦南小区５人、小鈴谷小区９人／計１４人
- 回 答 率：西浦南小区３５．７％、小鈴谷小区２８．１％／全体３０．４％

※ ２回目アンケートでは、改修工事／新設工事のコストや、移転・新設となった場合は南陵公民館周辺を候補地として検討している資料を提示した。



■ 「移転・新設に賛成」「どちらかというに移転・新設に賛成」を選択した理由（複数回答）

選択肢	西浦南 保育園	小鈴谷 保育園	西浦南 小学校区	小鈴谷 小学校区	計
今の園舎は老朽化している	21	10	5	4	40
通勤・通園にアクセスしやすくなる	6	6	0	0	12
新しい保育園ができることで地域の活性化につながる	13	4	2	2	21
その他	3	0	1	2	6
計	43	20	8	8	79

▲ その他の内容

所属区分	内容
西浦南保育園	西浦南保育園は敷地が狭い、小鈴谷は遠い
西浦南保育園	駐車場に困らなさそうだから。
西浦南保育園	耐用年数の長い方が無駄がないと思う。が、新設場所次第で時間内の送迎ができなくなるかもしれない。
西浦南小学校区	両園から中間地点にあることで、お互いの園の保護者から平等であると思う。
小鈴谷小学校区	もし小鈴谷保育園に集約されると、隣に小学校があるので西浦南小学校区の子どもは違和感を覚えるのではないかと思う
小鈴谷小学校区	西浦南保育園の駐車場は狭いイメージがある
小鈴谷小学校区	長文になるのでQ8（自由記述欄）に記載します。 未来のリアルな実態と目指すべき姿を踏まえた十分な議論・検討を経るという条件付きで移転・新設に賛成です。その議論・検討をしない、もしくはその結果従来の仕組みが変わらないのであれば、集約に賛成です。どちらの園にするかは耐用年数を含めてトータルコストが安い方が妥当だと思います。

■ 「集約に賛成」「どちらかというと集約に賛成」を選択した方で、集約を希望する園

選択肢	西浦南 保育園	小鈴谷 保育園	西浦南 小学校区	小鈴谷 小学校区	計
西浦南保育園への集約希望	8	1	0	0	9
小鈴谷保育園への集約希望	0	17	0	3	20
計	8	18	0	3	29

■ 「集約に賛成」「どちらかというと集約に賛成」を選択した理由（複数回答）

選択肢	西浦南 保育園	小鈴谷 保育園	西浦南 小学校区	小鈴谷 小学校区	計
通勤・通園するのに遠くなる	5	4	0	3	12
工事費が安く済む	5	9	0	0	14
慣れた保育園に継続して通いたい	3	13	0	0	16
その他	0	2	0	0	2
計	13	28	0	3	44

▲ その他の内容

所属区分	内容
小鈴谷保育園	西浦南保育園は駐車場が不便、運動場が狭い
小鈴谷保育園	小鈴谷保育園が一番南にある園ですし、西浦南保育園区の方々は最悪波の音があると思います。小鈴谷保育園区の方には坂井保育園もありますが小規模で定員数も少ない為みんなが入れるとは限らないからです。それから小鈴谷小学校が改修工事で綺麗にになったのでその続きでお隣の保育園である小鈴谷保育園を改修工事した方がいろんな面でいいと思います。

■ 自由意見まとめ

▶ 移転・新設派の主な意見：

- ・園舎の老朽化が深刻で、災害時の安全性に不安がある
- ・高台への移転で津波対策になる
- ・地域の育児教育拠点・防災拠点として複合施設化を提案
- ・駐車場や遊具など設備の充実を希望

▶ 集約派の主な意見：

- ・少子化が進む中、大きなコストをかけて新設する必要があるか疑問
- ・まずは集約で運用し、将来の園児数を見て判断すべき
- ・小鈴谷小学校が改修済みなので隣の保育園を残す方が効率的
- ・慣れた保育園に継続して通いたい

▶ 共通の意見・要望：

- ・スケジュールや検討状況の早期開示を希望
- ・高台という立地は両園とも評価されている
- ・駐車場の確保は重要な課題

■ アンケート調査結果

- 1回目のアンケートでは「移転・新設派」が49%・「集約派」が35%であった。
- 2回の意見交換会を経て、2回目のアンケートでは「**移転・新設派**」が**66%**、「**集約派**」が**34%**という結果となった。
- 「移転・新設」に賛成した理由で一番多かったのは「園舎の老朽化」であり、次に「新しい保育園ができることで地域の活性化につながる」であった。
- 「集約」を選択した方で集約を希望する園は小鈴谷保育園であり、「集約」に賛成した理由で一番多かったのは「慣れた保育園に継続して通いたい」であり、次に「工事費が安く済む」であった。

公立園の必要性

▼公共施設アクションプランの記載内容

公立園の役割である指導的立場を担う施設として、地域性を考慮しつつ、統廃合を実施する。
(中学校区ごとに1公立園)

▼公立園の役割

① 地域における子育て支援の中心的な役割

- ・ 保護者同士のつながりの場や子育てに関する相談の場として、地域の子育てをする保護者の安心の場を提供する。

② 市内全域における保育水準の向上に向けた取り組み

- ・ 市が直接運営する施設として、そこで行われている保育が地域のスタンダードとなることができる。

③ 安定的な運営が難しい地域での保育事業の実施

- ・ 児童数の減少に伴う将来的な保育需要の減少が想定されるなか、民間園が安定した運営を行うために常時一定以上の児童を受け入れる必要があることから、公立園が定員調整機能を担う。
- ・ 民間園は園児数の減少や災害その他不測の事態により、保育実施が困難となり、事業を撤退する可能性があり、保育施設の空白地帯が発生するリスクがあることから、保育の受け皿の役割（セーフティネット）として公立園の配置が必要

④ 特別な支援を必要とする児童への対応拡充

- ・ 障がい児、医療的ケア児、要保護世帯等の特別な支援が必要な子の受入れは公立園が中心となって実施する必要がある。

改修／移転・新設のメリット・デメリット

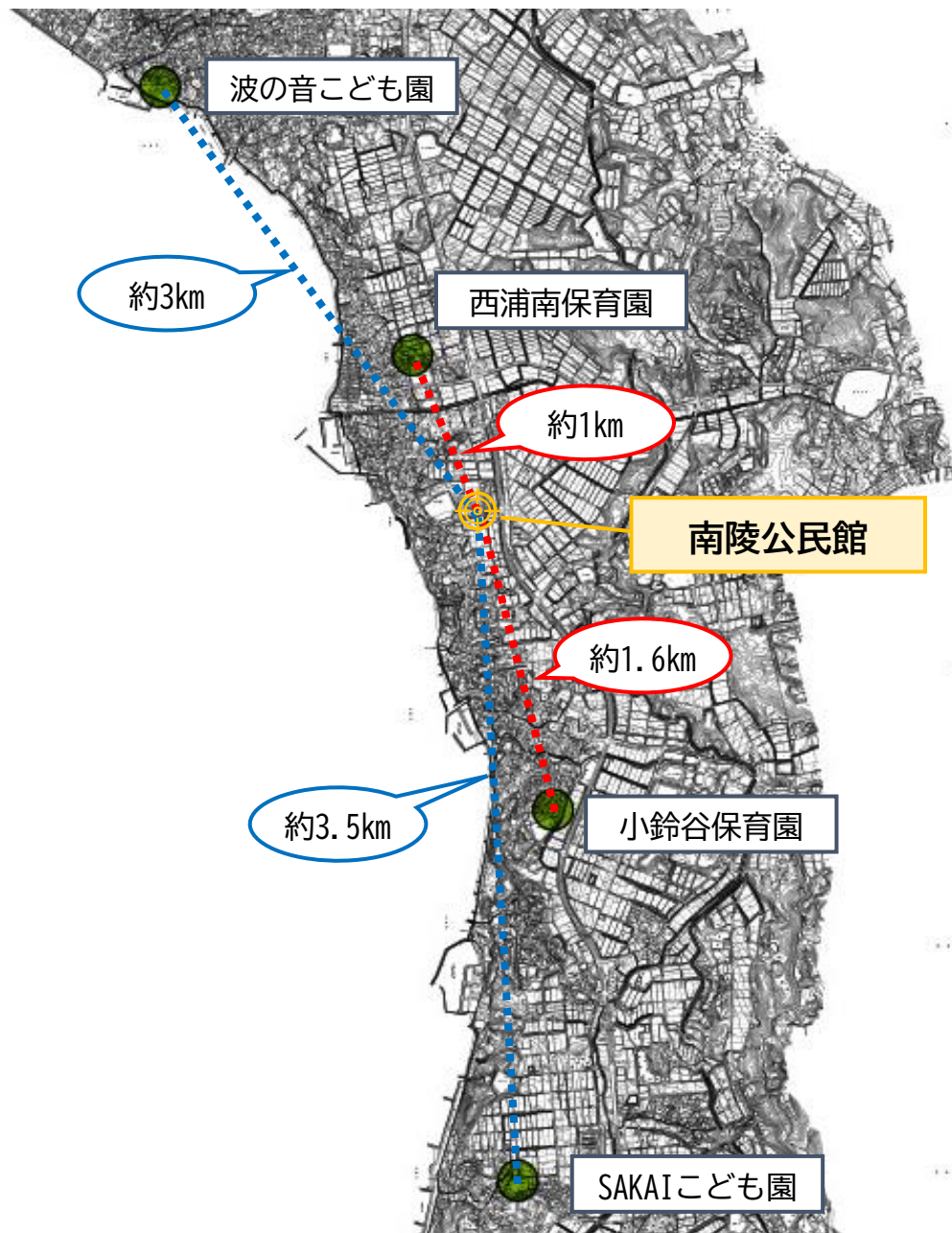
▼改修（現存する片方の園に統合）

	メリット	デメリット
1	移転新設に比べ、コストを抑えることができる。	場所が集約されることになるので、閉園する側の保護者の送迎が負担になる。
2		改修しても長期間の使用が難しい。 ※耐用年数：20年を目安

▼移転・新設

	メリット	デメリット
1	保育環境が改善される。	改修に比べ、コストが大きい。
2	長期間の使用が可能となる。 ※耐用年数：60年を目安	移転場所の付近の住民の理解を得られるか不透明。
3	両園の場所を考慮した移転先とすることで、保護者の送迎の大きな負担増にならない。	

民間園との位置関係／移転・新設の場合の候補地



- 現在の民間園(波の音こども園、SAKAIこども園)と公立園の位置関係は左図のとおり。
- 移転・新設の場合の候補地は、西浦南保育園・小鈴谷保育園の間に位置し、公共施設が集まっている南陵公民館周辺として検討。
- 南陵公民館周辺ならば、民間園との中間地点にあり、交通アクセスも良く、災害警戒区域にも位置していない。

統合の方針（案）

- 西浦南保育園・小鈴谷保育園ともに園舎の老朽化が進んでおり、園児・保護者・職員が長期間、安全で安心して園生活を過ごせる環境にすることが求められる。
- 公立園は指導的立場を担う施設として、各中学校区に1園を配置する必要性がある。
- どちらかの片方の園に集約することになると、閉園した園の保護者からも理解が得られにくく、公平性が保てない。



- 西浦南保育園と小鈴谷保育園の間に位置し、民間園の位置関係や交通面の良さ、災害リスクの少ない場所に**移転・新設する**方針（案）とした。

移転・新設の候補地

苅屋農村公園 (3,871m²)

※南陵公民館周辺の市有地で、ある程度の広さがある土地を選定



新設保育園の規模

▼ 令和8年3月末の園児数

西浦南保育園： 55人
小鈴谷保育園： 55人
計： 110人

※西浦南保育園の認可定員（110人）と同数

(参考)

内容	西浦南
敷地面積	2,961.0m ²
延床面積	990.4m ²
園庭	1,687.5m ²

※ 現時点における新設保育園については、西浦南保育園の延床面積（990.4m²）以上の1,200m²程度必要と想定

- 苅屋農村公園の敷地は西浦南保育園以上の面積があり、保育園を新設する広さとしては問題ないと考えられる。

移転・新設

- 新設保育園（定員110人想定）の延床面積を1,200㎡と想定
（参考）西浦南延床面積：990.4㎡、小鈴谷延床面積：1,700.26㎡
- 令和4年度に他市町で実施された公立保育園の建設工事費の平米単価：593,000円

$$593,000\text{円}/\text{m}^2 \times 1,200\text{m}^2 \div \underline{7\text{億}1,200\text{万円}}$$

大規模改修

- 令和3年度三和南保育園大規模改修工事費 2億240万円
三和南保育園延床面積1,475.42㎡ → 工事費の平米単価137,000円
- 令和5年度瀬木保育園大規模改修工事費 2億4,100万円
瀬木保育園延床面積1,812.07㎡ → 工事費の平米単価133,000円

平均135,000円

- 西浦南保育園工事費
 $135,000\text{円}/\text{m}^2 \times 990.4\text{m}^2 \div \underline{1\text{億}3,400\text{万円}}$
- 小鈴谷保育園工事費
 $135,000\text{円}/\text{m}^2 \times 1,700.26\text{m}^2 \div \underline{2\text{億}3,000\text{万円}}$

※ 瀬木保育園で実施した大規模改修工事の内容と西浦南／小鈴谷保育園で実施する大規模改修工事の内容は異なる可能性があるので工事費が増額となることもあり。

※ 建設費が高騰しているので、新設・大規模改修とも上記の試算から増額となる可能性あり。
※ 現在も財政部局と相談しており、借入金・地方交付税交付金などを活用し、財政負担を平準化していく。

<令和8年度前半に方針決定した場合（最短のスケジュール）>



※工事期間の延長などの要因で、スケジュールは変更となる可能性あり。

※方針決定後の対応状況については、適宜、市ホームページ等で情報提供していく。

意見の要旨	市の考え
保育園の場所が変わることによって、通園・通勤に時間がかかる。	開所時間を7:30~18:00から7:30~19:00(延長時間含む)に変更を検討します。
駐車場を確保してほしい。	保育園新設の設計業務の中で、なるべく多くの駐車場を整備できるよう検討します。
少子化が進む中、大きなコストをかけて保育園を新設するのではなく、集約(改修工事)で運用し、将来の園児数を見て判断してほしい。	両園とも老朽化が進んでおり、継続して利用するためには大規模な改修工事が必要です。大規模改修工事を実施する場合も、それなりのコストがかかることが想定され、長期的に公立園を維持していくためには新設の方が有利と考えます。
小鈴谷保育園は小鈴谷小学校に隣接しているので、保育園の場所が変わると困る。	公平性の観点から、両園の間に移転・新設することが望ましいと考えます。
小学校の統合も話が出ているが、小学校と保育園をまとめることを考慮してほしい。	小学校の統合については学校教育課が主となって対応しています。それぞれ情報を共有はしていますが、小学校と保育園をまとめることは難しく、個々で対応してまいります。
統合すること自体に反対	両園とも園舎が老朽化しており、また、児童数も減少しているため、両園の保育体制を維持・継続することは難しく、統合は避けられない状況となっています。

▶ プロセス1～6までの内容を地域住民説明会で説明

開催概要

日 時	①令和8年5月11日（月）14：30～15：15 ②令和8年5月11日（月）15：30～15：50 ③令和8年5月13日（水）14：30～15：00 ④令和8年5月13日（水）15：30～16：00
場 所	①② 西浦南保育園2階 遊戯室 ③④ 小鈴谷保育園3階 遊戯室
対 象 者	・ 西浦南保育園・小鈴谷保育園 在園児の保護者 ・ 西浦南小学校区・小鈴谷小学校区在住の未就園児の保護者 ・ 地域住民
参加者数	①6名、②1名、③2名 ④1名 /計10名

主な意見及び市の考え

意見の要旨	市の考え
賛否の状況を改めて把握する考えがあるのか。	アンケート結果は重要な判断材料ですが、改めて賛否の人数把握のみを目的とした調査を行う予定はありません。
提示された候補地以外に、他の場所も検討したのか。	他の農村公園や周辺用地も比較検討しましたが、アクセス道路の狭さ、住宅への近接、敷地形状、高低差や造成費用などの課題があったので、苅屋農村公園を候補地として選定しました。
統合や移転により通園距離が延びた場合の就労への影響、一時保育・延長保育の活用やその費用補助の可能性はあるか。	一時保育や延長保育の利用料への補助は、現時点で想定していません。

主な意見及び市の考え（続き）

意見の要旨	市の考え
候補地は幹線道路に近く外部から出入りしやすいため、安全面や防犯面に不安がある。	建物配置や壁の設置など、施設設計の中で安全対策を講じてまいります。
新設までに一定期間を要する見込みである中で、現施設の老朽化や遊具・設備の不具合にどのように対応していくのか。	大規模な修繕は難しいですが、移転新設までの間に必要となる修繕や安全確保のための対応は継続して行います。
苅屋農村公園の敷地内で園舎と駐車場などが全て含まれるのか。	敷地内で十分な駐車場の確保が難しい場合には、周辺用地の活用も含めて検討してまいります。
園庭や保育環境の充実を優先してほしい。	設計を考えていく中で建物自体と広い園庭が確保できるよう検討してまいります。
送迎時間への影響については、距離差は大きくないとの見方がある一方、わずかな延長でも負担になる家庭がある。	そうした事情に対応するため、保育時間を19時までとすることを検討してまいります。

地域住民説明会後に提出された主な意見及び市の考え

意見の要旨	市の考え
今後児童数の減少が見込まれているため新設園の3～5歳児の定員については1学年25人を計画されているが、出生数の変動や転入、また“私立ではなく新設園を選びたい”という保護者の増加を考慮すると、年度によっては定員を超過する可能性がある。その場合、弾力運用やクラス増設といった対応は可能なのか、それとも待機児童の発生や私立園への振り替えとなるのか、具体的な方針を示していただきたい。	私立園ではなく新設園を選択する保護者が増えることで、新設園の定員が超過する可能性もありますが、クラス増設のため保育室を多めに整備したり、保育士を増員したりすることは難しいと想定されます。そのため、希望園に入園できない可能性があります。他園を利用しながら希望園の空きを待つという現行の運用になるものと考えております。
新設保育園の延床面積を西浦南保育園を基準に1,200㎡と想定としているが、50年以上前に設計された西浦南保育園の990㎡が基準で問題ないか。現場の保育士へのヒアリングをしたうえで、現代の保育動線・必要機能を踏まえたゼロベースでの延べ床面積が算出されるべきではないか。	新設保育園の延床面積1,200㎡はあくまで目安としておりますが、保育室や遊戯室など、保育園の認可に必要な部屋の面積基準を満たしているものと考えております。施設設計の段階で保育士の意見も踏まえて、延床面積を確定していく予定です。
園庭や遊戯室など、保護者が集まるときも考慮したレイアウトとしてほしい。イベント時の駐車場は多少離れていてもかまわないと思うが、十分な場所の確保を検討していただきたい。	施設設計の中で検討してまいります。
地域住民意見交換会を平日夕方に開催されているが、共働き世帯が多い昨今では参加が難しい家庭も多い。土日開催、オンライン参加などより多く方が参加できる方法の検討をお願いしたい。	地域住民意見交換会や方針決定に関する説明会の開催については、現時点で予定はございませんが、開催する際の参考とさせていただきます。
現小鈴谷保育園の場所に新設を希望する。	公平性の観点から、両園の間に移転・新設することが望ましいと考えます。

統合の方針決定

再掲

- 西浦南保育園・小鈴谷保育園ともに園舎の老朽化が進んでおり、園児・保護者・職員が長期間、安全で安心して園生活を過ごせる環境にすることが求められる。
- 公立園は指導的立場を担う施設として、各中学校区に1園を配置する必要がある。
- どちらかの片方の園に集約することになると、閉園した園の保護者からも理解が得られにくく、公平性が保てない。



- 西浦南保育園と小鈴谷保育園の間に位置し、民間園の位置関係や交通面の良さ、災害リスクの少ない場所に**移転・新設する**方針（案）とした。

▶ 方針(案)どおり移転・新設することで決定し、移転先を苅屋農村公園とする。

その他

令和8年6月26日以降： 方針決定の周知（市ホームページ・SNS、民間保育所等へ通知、アプリ配信）